

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること
(施行規則第22条の6第1号関係)

【教員養成に対する理念・構想など】

芝浦工業大学の建学の理念として「我等の生活の中に科学の解け込んだ現代文化の諸相を教材とし、社会の一員たる個人に社会的活動の意義を体得させる特色ある教育を行い、以って社会に貢献する」という実学志向の理念を有しています。本学の教職課程における教員養成も、大学の基本理念と伝統のもとに、社会において信頼と尊敬を獲得しうる教師の育成とともに工学専門教育を基礎に数理科学に優れた豊かな教育的実践能力の育成を理念としています。本学の特質を生かした教員養成の取り組みを通し、社会的使命の一つとして、その責任を果たしたいと考えています。

本学の教職課程は、全学組織である教職支援室のもと、以下の事項に重点を置いた人材育成を目指しています。

1. 教員養成の目的

- (1) 専門教育の修得に必要な基礎学力とより幅の広い人間教育に重点化した共通教養教育や学際・境界領域分野の思考・方法・総合化能力の修得カリキュラムなどにより基礎学力を身につけた、創造力豊かな教育的人材の育成
- (2) 優れた専門的知識と技能を基礎に、個性豊かな実践的指導力を育てるため、豊富な演習や実験、実習、体験型の総合学習など多様な教育指導を取り入れた、「生きる力」を育てる学校現場が抱える課題に対応した実践的指導力の育成
- (3) 人間の成長や発達にかかわる教職の特質を自覚させ、学生生活を通して教職への愛着や誇りを涵養し、教育や生徒指導のあり方などに関する適切な理解を促し、進んでボランティア活動や社会貢献を志向する態度の育成

2. 教職課程を修了し免許取得時に達成すべき目標

- (1) 技術者及び科学者が社会に負っている責任を理解し、高いコミュニケーション能力を有する社会に貢献する職業人として高い倫理観と規範意識に基づき行動できる。
- (2) 教員としての職責や義務の自覚のもと、保護者や地域の関係者との良好な人間関係の重要性を理解し、目的や状況に応じた適切な言動を取ることができる。
- (3) 生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、適切な指導を行うことができる。
- (4) 生徒との間に信頼関係を築き、学級集団を把握して、規律ある学級経営を行うことができる。
- (5) 学習指導や授業計画に関する基本的知識と技能を修得し、生徒に応じた教材・教具を活用した授業を行うことができる。
- (6) 数学、自然科学及び情報技術に関する基礎的知識と理工学の専門知識に基づき、幅広い領域の知識との融合により、問題解決に応用できる。
- (7) 専門的知識と技能を基礎に、教員としての実践的指導力を発展させることができる。

以上

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関する事（施行規則第 22 条の 6 第 2 号関係）

【教員の養成に係る授業科目・担当教員の一覧】

<工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論	谷田川ルミ 木田竜太郎	非常勤講師
	教育の近現代史	田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教職論	塩澤友樹 牧下英世	非常勤講師
	教育社会学	谷田川ルミ	
	教育心理学	岡田佳子	
	特別支援教育論	岡田佳子	
	教育課程論	谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法	田中友佳子	非常勤講師
	総合的な学習の時間の指導法	阿久津利明 牧下英世	非常勤講師
	特別活動の指導法	阿久津利明	非常勤講師
	教育の方法及び技術	中村佐里	非常勤講師
	教育における ICT 活用	中村佐里	非常勤講師
	生徒・進路指導論	谷田川ルミ	
	教育相談論	岡田佳子	
教育実践に関す る科目	事前・事後指導	塩澤友樹・谷田川ルミ・岡田佳子	
	教育実習 1	奥田宏志・田中友佳子	
	教育実習 2	（左記科目は上記 5 名で担当）	
	教職実践演習（中・高）		
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	数学科指導法 1・2・3・4	塩澤友樹 牧下英世（数学科指導法 3・4）	非常勤講師
	理科指導法 1・2・3・4	奥田宏志	
	工業科指導法 1・2	早川忠憲	非常勤講師
	情報科指導法 1・2	神藤健朗	非常勤講師
	職業指導	早川忠憲	非常勤講師

<システム理工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論 教育の近現代史 教職論 教育社会学 教育心理学 特別支援教育論 教育課程論	田中友佳子 田中友佳子 奥田宏志 谷田川ルミ 岡田佳子 岡田佳子 谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 教育における ICT 活用 生徒・進路指導論 教育相談論	田中友佳子 阿久津利明 山崎貞登 阿久津利明 山崎貞登 田村俊之 波多野和彦 田村俊之 波多野和彦 三浦巧也 岡田佳子	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師
教育実践に関す る科目	事前・事後指導 教育実習 1・教育実習 2 教職実践演習（中・高）	奥田宏志・田中友佳子 谷田川ルミ・岡田佳子 （左記科目は上記 4 名で担当） 奥田宏志・田中友佳子 谷田川ルミ・岡田佳子	
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	数学科指導法 1・2・3・4 理科学指導法 1・2・3・4 工業科学指導法 1・2 情報科学指導法 1・2 職業指導	塩澤友樹 島上直人 荻原文弘 奥田宏志 山崎貞登 早川忠憲 神藤健朗 早川信一 山崎貞登 早川忠憲	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師

<デザイン工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論	谷田川ルミ 田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教育の近現代史	田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教職論	塩澤友樹 牧下英世	非常勤講師
	教育社会学	谷田川ルミ	
	教育心理学	岡田佳子	
	特別支援教育論	岡田佳子	
	教育課程論	谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法	田中友佳子	非常勤講師
	総合的な学習の時間の指導法	阿久津利明 牧下英世	非常員講師
	特別活動の指導法	阿久津利明	非常勤講師
	教育の方法及び技術	中村佐里	非常勤講師
	教育における ICT 活用	中村佐里	非常勤講師
	生徒・進路指導論	谷田川ルミ	
	教育相談論	岡田佳子	
教育実践に関す る科目	事前・事後指導	塩澤友樹・谷田川ルミ・岡田佳子	
	教育実習 1	奥田宏志・田中友佳子	
	教育実習 2	(左記科目は上記 5 名で担当)	
	教職実践演習 (中・高)		
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	工業科指導法 1・2	早川忠憲	非常勤講師
	職業指導	早川忠憲	非常勤講師

【教員の養成に係わる科目を担当する教員数（2025年5月1日現在）】

<工学部>

専任教員数 147 名

非常勤講師数 83 名

<システム理工学部>

専任教員数 71 名

非常勤講師数 46 名

<デザイン工学部>

専任教員数 42 名

非常勤講師数 23 名

<大学院 理工学研究科>

専任教員数 141 名

非常勤講師数 6 名

※教員数（2025年5月1日現在）

https://www.shibaura-it.ac.jp/about/info/faculty_number.html

【研究者情報】

<http://resea.shibaura-it.ac.jp/>

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること
(第3号関係)

【教員の養成に係わる授業科目・担当教員の一覧】

<工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論	谷田川ルミ 木田竜太郎	非常勤講師
	教育の近現代史	田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教職論	塩澤友樹 牧下英世	非常勤講師
	教育社会学	谷田川ルミ	
	教育心理学	岡田佳子	
	特別支援教育論	岡田佳子	
	教育課程論	谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法	田中友佳子	非常勤講師
	総合的な学習の時間の指導法	阿久津利明 牧下英世	非常勤講師 非常勤講師
	特別活動の指導法	阿久津利明	非常勤講師
	教育の方法及び技術	中村佐里	非常勤講師
	教育における ICT 活用	中村佐里	非常勤講師
	生徒・進路指導論	谷田川ルミ	
	教育相談論	岡田佳子	
教育実践に関す る科目	事前・事後指導	塩澤友樹・谷田川ルミ・岡田佳子	
	教育実習 1	奥田宏志・田中友佳子	
	教育実習 2	(左記科目は上記 5 名で担当)	
	教職実践演習 (中・高)		
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	数学科指導法 1・2・3・4	塩澤友樹 牧下英世 (数学科指導法 3・4)	非常勤講師
	理科指導法 1・2・3・4	奥田宏志	
	工業科指導法 1・2	早川忠憲	非常勤講師
	情報科指導法 1・2	神藤健朗	非常勤講師
	職業指導	早川忠憲	非常勤講師

<システム理工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論 教育の近現代史 教職論 教育社会学 教育心理学 特別支援教育論 教育課程論	田中友佳子 田中友佳子 奥田宏志 谷田川ルミ 岡田佳子 岡田佳子 谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 教育における ICT 活用 生徒・進路指導論 教育相談論	田中友佳子 阿久津利明 山崎貞登 阿久津利明 山崎貞登 田村俊之 波多野和彦 田村俊之 波多野和彦 三浦巧也 岡田佳子	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師
教育実践に関す る科目	事前・事後指導 教育実習 1・教育実習 2 教職実践演習（中・高）	奥田宏志・田中友佳子 谷田川ルミ・岡田佳子 （左記科目は上記 4 名で担当） 奥田宏志・田中友佳子 谷田川ルミ・岡田佳子	
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	数学科指導法 1・2・3・4 理科指導法 1・2・3・4 工業科指導法 1・2 情報科指導法 1・2 職業指導	塩澤友樹 島上直人 荻原文弘 奥田宏志 山崎貞登 早川忠憲 神藤健朗 早川信一 山崎貞登 早川忠憲	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師

<デザイン工学部>

区分	授業科目名	担当教員	
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論	谷田川ルミ 田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教育の近現代史	田中友佳子 木田竜太郎	非常勤講師
	教職論	塩澤友樹 牧下英世	非常勤講師
	教育社会学	谷田川ルミ	
	教育心理学	岡田佳子	
	特別支援教育論	岡田佳子	
	教育課程論	谷田川ルミ	
道徳、総合的な学 習の時間の指導 法及び生徒指導、 教育相談などに 関する科目	道徳の理論及び指導法	田中友佳子	非常勤講師
	総合的な学習の時間の指導法	阿久津利明 牧下英世	非常勤講師 非常員講師
	特別活動の指導法	阿久津利明	非常勤講師
	教育の方法及び技術	中村佐里	非常勤講師
	教育における ICT 活用	中村佐里	非常勤講師
	生徒・進路指導論	谷田川ルミ	
教育実践に関す る科目	教育相談論	岡田佳子	
	事前・事後指導	塩澤友樹・谷田川ルミ・岡田佳子	
	教育実習 1	奥田宏志・田中友佳子	
	教育実習 2	(左記科目は上記 5 名で担当)	
教職実践演習 (中・高)			
大学が独自に設 定する科目	人間関係論	岡田佳子	
教科及び教科の 指導法に関する 科目	工業科指導法 1・2	早川忠憲	非常勤講師
	職業指導	早川忠憲	非常勤講師

【取得可能な教育職員免許】

https://www.shibaura-it.ac.jp/career_support/education_course/

【学事予定、時間割り】

<http://timetable.sic.shibaura-it.ac.jp/>

https://www.shibaura-it.ac.jp/campus_life/school_calendar/

【シラバス検索】

<http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/index.html.ja>

【履修ガイド】

https://www.shibaura-it.ac.jp/campus_life/class/class.html

以上

< 大学院理工学研究科 >

年度（修了年）	学科	数学（専修）		理科（専修）		工業 （専修）	情報 （専修）	計	教員免許取得者 数の実数※
		中学校	高等学校	中学校	高等学校				
2017年度（2018年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	0	0	0	0
	材料工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	応用化学専攻	－	－	0	0	－	－	0	0
	機械工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	建設工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	システム理工学専攻	0	0	3	3	0	－	6	3
2018年度（2019年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	0	1	1	1
	材料工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	応用化学専攻	－	－	1	1	－	－	2	1
	機械工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	建設工学専攻	－	－	－	－	1	－	1	1
	システム理工学専攻	1	1	0	0	0	－	2	1
2019年度（2020年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	0	0	0	0
	材料工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	応用化学専攻	－	－	4	4	－	－	0	4
	機械工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	建設工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	システム理工学専攻	0	0	1	1	0	－	0	1
2020年度（2021年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	0	0	0	0
	材料工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	応用化学専攻	－	－	0	0	－	－	0	0
	機械工学専攻	－	－	－	－	1	－	1	1
	建設工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	システム理工学専攻	1	1	0	0	0	－	2	1
2021年度（2022年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	3	1	4	4
	材料工学専攻	－	－	－	－	1	－	1	1
	応用化学専攻	－	－	1	1	－	－	2	1
	機械工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	建設工学専攻	－	－	－	－	0	－	0	0
	システム理工学専攻	3	3	2	2	0	－	10	5
2022年度（2023年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	材料工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	応用化学専攻	－	－	1	1	－	－	2	1
	機械工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	システム理工学専攻	2	2	－	－	－	－	4	2
	社会基盤学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
2023年度（2024年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	1	－	1	1
	材料工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	応用化学専攻	－	－	4	4	－	－	8	4
	機械工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	システム理工学専攻	1	1	1	1	－	－	4	4
	社会基盤学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
2024年度（2025年修了）	電気電子情報工学専攻	－	－	－	－	－	2	2	2
	材料工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	応用化学専攻	－	－	3	3	－	－	6	3
	機械工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－
	システム理工学専攻	1	1	2	2	－	－	6	3
	社会基盤学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－

※複数免許取得者も 1 と数える

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること（施行規則第22条の6第5号関係）

学科別教員就職状況

工学部		2017卒			2018卒			2019卒			2020卒			2021卒			2022卒			2023卒			2024卒			合計
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	
機械工学科	正																									0
	他																									
機械機能工学科	正																									0
	他																									
材料工学科	正																1									2
	他		1																							
応用化学科	正																			1			1			3
	他		1																	1				1		
電気工学科	正																									0
	他																									
電子工学科	正																									0
	他																									
情報工学科	正																									0
	他																									
通信工学科	正																									1
	他					1																				
土木工学科	正																									0
	他																									

システム理工学部		2017卒			2018卒			2019卒			2020卒			2021卒			2022卒			2023卒			2024卒			合計
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	
電子情報システム学科	正																									2
	他							1	1																	
機械制御システム学科	正																									0
	他																									
環境システム学科	正													1												2
	他												1													
生命科学科	正		1																	1						3
	他																			1			1			
数理科学科	正		1			6			1		4						1	1		2	1					37
	他		3			6			2	1	3						1	2		2			1	4		

デザイン工学部		2017卒			2018卒			2019卒			2020卒			2021卒			2022卒			2023卒			2024卒			合計
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	
デザイン工学科	正													1												1
	他																									

大学院		2017卒			2018卒			2019卒			2020卒			2021卒			2022卒			2023卒			2024卒			合計
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	
電気電子情報工学専攻	正																									0
	他																									
材料工学専攻	正																									0
	他																									
応用化学専攻	正										1						1		1							3
	他																									
機械工学専攻	正																									0
	他																									
建設工学専攻	正																									0
	他																									
システム理工学専攻	正		1			2			1								2									10
	他		1														1	1		1						

※2017年度より募集停止

工学部		2017卒			2018卒			2019卒			2020卒		
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私
工学部建築学科	正												
	他												
工学部建築工学科	正												
	他										1		

合計
0
1

【2024 年年度における FD・SD 実施状況】

【(1)プレFD、入職から3年以内の教員を主たる対象とした能力開発プログラム】

- (1.1) 大学教育開発論(プレFD、前期・後期開催)
- (1.2) 学生の学修を促すシラバスの書き方WS(9月5日、2月27日開催)
- (1.3) 授業デザインWS(9月5日、3月11日開催)
- (1.4) 学生主体の授業運営手法WS(9月18日、3月4日開催)
- (1.5) TP作成・完成WS(作成WS 9月9～10日開催、
完成WS 5月2日、12月21日開催)
- (1.6) 学生の学修を促すシラバスの書き方WS(英語実施、学内のみ)(2月22日開催)

【(2)理工系教育に関わる教員の基礎的・共通的な能力開発プログラム】

- (2.1)英語による授業のためのWS(2月22日開催)
- (2.2)ループリック評価入門WS(12月14日開催)
- (2.3)反転授業入門WS(6月1日開催)
- (2.4)AP作成・完成WS(作成WS 9月9～10日開催、
完成WS 5月2日、12月21日開催)
- (2.5)障がい学生への対応について学ぶ研修(学内のみ)(4月9日・11月20日開催)
- (2.6)外部資金獲得支援(学内のみ)(6月7日開催)
- (2.7)研究者倫理について理解する研修(学内のみ)(6月・7月開催)
- (2.8)大学におけるダイバーシティについて理解する研修(5月21日開催)
- (2.9)安全衛生・危機管理に関する研修(学内のみ)(12月16日開催)

【(3)理工系教育の強みをさらに伸ばす能力開発プログラム】

- (3.1)研究室指導に必要なコーチング技能入門WS(10月19日開催)
- (3.2)アカデミックアドバイジング入門WS(10月12日開催)
- (3.3)デザイン能力を育成する授業設計入門(9月21日開催)
- (3.4)知的財産マネジメント研修(9月21日開催)
- (3.5)学修歴のデジタル化について学ぶセミナー(12月7日開催)
- (3.6)オンラインを活用した教育に関するセミナー(学内のみ)(11月1日開催)

【(4)理工系教育の強みをさらに伸ばす組織開発支援プログラム】

- (4.1)FDer養成講座(11月30日～12月1日開催、日本高等教育開発協会と共催)
- (4.2)CC養成講座(2月15日～16日開催、日本高等教育開発協会と共催)
- (4.3)ミドルマネジメントについて考えるセミナー(7月20日～21日開催)
- (4.4)カリキュラムの整合性と学修成果の可視化に関するセミナー(7月6日開催)
- (4.5)教育プログラムをより良くするための学生参画に関するセミナー(11月23日開催))
- (4.6)新任研修プログラムの構築の仕方に関するセミナー(2月20日開催)

上記(4.4)(4.5)に関わる個別コンサルテーション 5件実施